

令和5(2023)年度

ウィークエンド青少年セミナー

第2回 実施報告

実施日:令和5(2023)年10月14日



ウィークエンド青少年セミナーは、青少年がボランティアについて学び、講座やイベントの企画や実践を通して、ボランティア活動や地域貢献活動に参画するために必要な知識や技術の習得を目指すセミナーです。

第2回は、講話・演習「青少年が地域での活動をするときに期待されることは何だろう?」、演習「地域の人とつながるには」を行いました。



○講話・演習「青少年が地域での活動をするときに期待されることは何だろう?」

NPO 法人とちぎユースサポーターズネットワーク 代表 岩井 俊宗 氏

岩井氏は、若者の成長の機会創出と社会課題の解決に向けて持続的に取り組む人材を輩出し、若者による社会づくりの加速を目的に2008年にとちぎユースサポーターズネットワークを設立され、代表理事を務めていらっしゃいます。

始めに、自己紹介の中で、自身の地域との関わり方について触れられました。岩井氏の1つ1つの言葉に、地域活性化や地域課題解決に対する思いを感じることができ、受講者は地域活動に取り組むに当たって大切にすべきことを、それぞれに考えているようでした。続けて、現代の若者の特徴を基に、「社会にとって」「学生(自分自身)にとって」の2つの側面から、地域づくりの持つ価値を確認しました。

そして、地域づくりの在り方について、時間を掛けて整理しました。課題意識からすぐに動き出すこと、アイデアや思いつきだけで動き出すことは、活動として持続可能なものに発展しづらいことを確認しました。その上で、課題意識から地域の理想や願いを共有して、その間にある変化を価値として捉え、みんなで活動していくことが、仲間が集い、地域づくりを促進していく大切なポイントであることを説明されました。受講者にとっても心に訴えかける内容だったようで、真剣な眼差しで話に耳を傾けていました。

最後に、若者の活動事例について、どんな活動でどんな思いによるものかなどについての紹介があり、それらに関連付けて今後に向けた受講者へのメッセージが送られました。受講者にとって、自分のまちのちょっといい未来を創り出していくために今何をすべきか考える機会となり、地域貢献活動に関わる意欲が高まる時間になったようです。

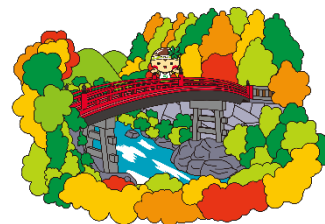




○演習「地域の人とつながるには」

総合教育センター職員

最初に、地域づくりと地域資源について説明をし、受講者はそれぞれの地域にある資源について書き出すワークに取り組みました。ワークを通して、自分たちが地域にあるもの(ヒト・コト・モノ)についての情報をあまり持っていないこと、活動をとにもする仲間で情報を共有することで、たくさんさんの地域情報が集約できることなどを確認しました。



その後、地域におけるコミュニケーションの重要性について整理して、地域づくりにおける「人とつながること」「人をつなげること」の意義について確認しました。その上で、受講者は、自らが関心を持つ地域課題を取り上げ、その解決に向けた地域のあるべき姿を考え、その理想の姿に近づくための活動のアイデアを出すという、地域づくりのプロセスを体感するワークに取り組みました。受講者は、頭を悩ませながら一生懸命考え、それぞれのグループで協力しながら取り組んでいました。また、地域づくりの基礎とアイデアを活動につなげていくための一手法を学んだことで、セミナー修了後に踏み出す地域づくりに向けた1歩目について真剣に考えていました。



受講者の声

- 活動するという観点でボランティア活動に参加していたが、その価値や意味を考えた際に、どのような地域貢献になっているのかという大きな視点に気付くことができました。
- 課題に対して、「自分でどうにかしよう」と『1人で』の意識が強かったので、誰かと一緒に取り組んでいくという岩井さんの話が心に残りました。理想を共有しながら、周囲の人たちと一緒に、を念頭に置いて活動していきたいと思います。
- 相手の納得感や共感を得るには、何を目的としてどうしていきたいのかを明確にする必要があることを知りました。
- 地域活動に取り組むにあたり大切なことである「人を巻き込む」ためには、地域の理想像を共有することが重要であることを学ぶことができました。
- 思いつきでやりたいことに取り組むのではなく、活動によりどのような変化があるのかを考える必要があることを学びました。また必要に応じて、現場を見に行くことも大切だと分かりました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで！

TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp